

# 日本企業社債ファンド 2022-11 (愛称：和ごころ)

## 運用報告書(全体版)

### 第1期

(決算日 2023年12月20日)

(作成対象期間 2022年11月30日～2023年12月20日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する日本円、米ドルおよびユーロ建ての社債（劣後債を含みます。）に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券
信託期間	2022年11月30日～2027年12月20日
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日系企業が発行する円建ておよび外貨建ての社債
株式組入制限	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定(2022年11月30日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末(2023年12月20日)	10,190	0	190	1.9	1.8	97.5	△ 18.2	95.2

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

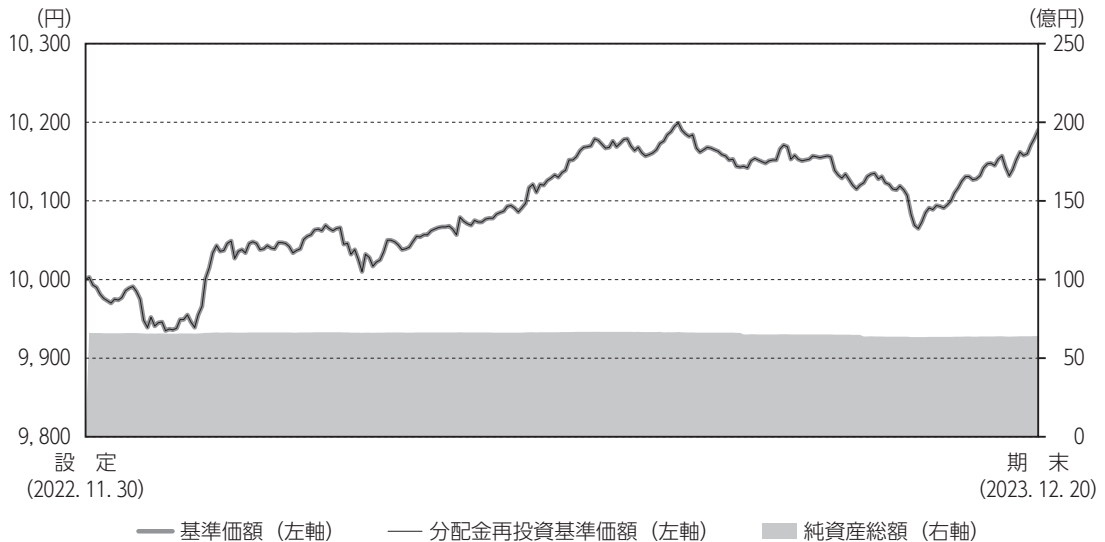
(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：10,190円（分配金0円）

騰落率：1.9%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

日系企業が発行する日本円、米ドルおよびユーロ建ての社債に投資した結果、投資している債券からの利息収入がプラス要因になり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

日本企業社債ファンド2022-11

年 月 日	基 準 価 額		公社債組入比率	債券先物比率
	円	騰 落 率		
(期首) 2022年11月30日	10,000	—	—	—
11月末	10,003	0.0	16.4	—
12月末	9,937	△ 0.6	96.7	△ 15.9
2023年 1 月末	10,036	0.4	96.6	△ 15.7
2 月末	10,055	0.6	97.0	△ 17.2
3 月末	10,050	0.5	97.0	△ 17.5
4 月末	10,079	0.8	97.3	△ 17.6
5 月末	10,121	1.2	98.1	△ 18.2
6 月末	10,176	1.8	98.7	△ 19.0
7 月末	10,185	1.9	98.8	△ 18.6
8 月末	10,148	1.5	97.3	△ 17.4
9 月末	10,133	1.3	97.4	△ 17.5
10 月末	10,069	0.7	99.2	△ 17.9
11 月末	10,147	1.5	97.7	△ 18.5
(期末) 2023年12月20日	10,190	1.9	97.5	△ 18.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2022. 11. 30 ~ 2023. 12. 20)

**国内債券市況**

日系企業の円建社債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

国内債券市況は、2022年12月の金融政策決定会合において、日銀が長期金利の変動許容幅を拡大したことから、国債金利は上昇しました。2023年3月に入ると、欧米の金融システム不安の高まりを受けて国債金利は低下（債券価格は上昇）しましたが、4月には金融不安が後退し、国債金利は上昇しました。その後は、7月の金融政策決定会合において、日銀が長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用を柔軟化することを決定したことで、国債金利は上昇しました。10月の金融政策決定会合では、長短金利操作の運用のさらなる柔軟化が決定されて国債金利は一段と上昇しましたが、11月以降は、米国での早期利下げ観測の高まりにより米国金利が低下したことを受け、国債金利は低下しました。

日系企業の円建社債金利は、国債金利の上昇を受けて上昇しました。

**海外債券市況**

日系企業の外貨建社債金利は低下しました。

海外債券市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを上方修正したことなどから、金融引き締めが意識され、国債金利は上昇しました。2023年3月に入ると、欧米の金融システム不安の高まりを受けて、国債金利は低下しました。5月以降は、経済指標の上振れや欧米金融システム不安の後退などを背景に、早期の引き締め終了期待がはく落し、国債金利は上昇しました。しかし11月以降は、F R Bが政策金利を据え置いたことや、雇用およびインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、国債金利は低下しました。

日系企業の外貨建社債金利は、国債金利の低下を受けて低下しました。投資家のリスク選好姿勢が強まり、日系企業の外貨建社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

**ポートフォリオについて**

(2022. 11. 30 ~ 2023. 12. 20)

日系企業が発行する日本円、米ドルおよびユーロ建ての社債の中から、相対的に利回りの高い劣後債を中心に投資を行いました。米ドルおよびユーロ建ての社債については、為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動リスクを低減するため、短期の為替先渡取引と債券先物取引の売建てを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額が119,521,697円であり、経費控除後の配当等収益76,876,881円を超過しているため、純資産額の元本超過額119,521,697円（1万口当たり190.11円）が分配対象額となりますが、上記の理由により、分配を行っておりません。



## 今後の運用方針

日系企業が発行する日本円、米ドルおよびユーロ建ての社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。組入れた債券については、各債券の満期日または繰上償還日まで保有することを基本とします。

また、外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 11. 30～2023. 12. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	74円	0.733%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,092円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.291)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.407)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.035)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.004	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	75	0.746	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

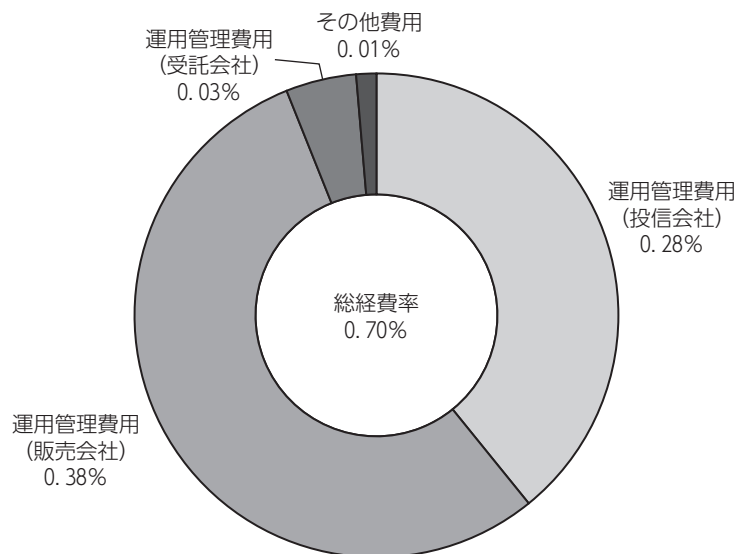
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.70%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。



## ■売買および取引の状況

## (1) 公 社 債

(2022年11月30日から2023年12月20日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	社債券	5,299,733	(199,647 —)
外	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
国	社債券	6,124	(983 —)
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ	千ユーロ
	社債券	1,989	(— —)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

## (2) 先物取引の種類別取引状況

(2022年11月30日から2023年12月20日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外	債券先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
		—	—	5,844	4,763

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 公 社 債

(2022年11月30日から2023年12月20日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
		金 額	金 額
		千円	千円
1 東北電力劣後 FR - floating - 2057/9/14	398,316	Fukoku Mutual Life Insurance Co (日本) - floating - 永久債	143,792
1 三菱 HC 劣後 FR - floating - 2081/9/27	390,740	6 東京電力パワー 0.85% 2027/8/31	100,440
1 関西電力劣後 FR - floating - 2082/3/20	390,028	1 ENEOS HD 劣 FR - floating - 2081/6/15	99,207
2 九州電力劣後 FR - floating - 2080/10/15	389,028		
1 パナソニック 劣後 FR - floating - 2081/10/14	387,188		
16 楽天グループ 0.6% 2026/12/2	369,829		
NISSAN MOTOR CO LTD (日本) 4.345% 2027/9/17	359,506		
SOFTBANK CORP (日本) - floating - 永久債	323,456		
3 森ビル 劣後 FR - floating - 2057/10/11	300,408		
1 NTN 劣後 FR - floating - 2051/3/18	300,133		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

(2022年11月30日から2023年12月20日まで)

決算期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	
公社債	6,393	1,567	24.5	343	100	29.2
債券先物取引	4,763	—	—	5,844	—	—
為替予約	6,391	—	—	6,481	—	—
コール・ローン	61,739	—	—	—	—	—

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

(2022年11月30日から2023年12月20日まで)

種 類	当 期
	買 付 額
公社債	百万円 300

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	当 期				未		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
千円	千円	%	%	%	%	%	
普通社債券	5,200,000	5,086,323	79.4	—	66.0	13.3	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		未		
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
		%	千円	千円		
普通社債券	16 楽天グループ	0.6000	400,000	354,260	2026/12/02	
	56 東京電力PG	0.9800	200,000	201,853	2027/10/19	
	33 SBI ホールディングス	1.2000	300,000	298,910	2027/12/06	
	1 損保 JNK 劣後 FR	0.8400	100,000	98,822	2046/08/08	
	6A 日本生命劣後 FR	1.0500	300,000	295,513	2047/04/19	
	1 大日本住友劣 FR	1.3900	300,000	271,737	2050/09/09	
	1 NTN 劣後 FR	2.5000	300,000	301,156	2051/03/18	
	1 朝日生命劣後 FR	1.5000	200,000	193,423	2057/02/10	
	3 ヒューリック劣後 FR	1.4000	100,000	99,973	2057/07/02	
	1 東北電力劣後 FR	1.5450	400,000	404,371	2057/09/14	
	3 森ビル 劣後 FR	1.3600	300,000	299,267	2057/10/11	

区 分	当 期			末		償還年月日
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	評 価 額	
	1芙蓉総合リース劣FR	1.8490	200,000	202,291	2057/12/14	
	3 損保 JNK 劣後 FR	1.0600	100,000	98,685	2077/04/26	
	2九州電力劣後 FR	1.0900	400,000	393,949	2080/10/15	
	1 JFEHD 劣後 FR	0.6800	300,000	292,946	2081/06/10	
	1 ENEOS HD 劣 FR	0.7000	100,000	98,978	2081/06/15	
	1 三菱 HC 劣後 FR	0.6300	400,000	392,128	2081/09/27	
	1 パナソニック 劣後 FR	0.7400	400,000	392,003	2081/10/14	
	1 関西電力劣後 FR	0.8960	400,000	396,051	2082/03/20	
合 計	銘 柄 数	19銘柄				
	金 額			5,200,000	5,086,323	

(注) 単位未満は切捨て。

## (3)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 6,000	千アメリカ・ドル 5,729	千円 825,175	% 12.9	% 6.5	% 6.5	% 6.4	% —
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 2,200	千ユーロ 2,106	332,974	5.2	—	5.2	—	—
合 計	—	—	1,158,149	18.1	6.5	11.7	6.4	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (4)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期				末			償還年月日
	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ	SOFTBANK CORP	社債券	% 6.8750	千アメリカ・ドル 3,000	千アメリカ・ドル 2,874	千円 413,942	永久債	
	NISSAN MOTOR CO LTD	社債券	4.3450	3,000	2,855	411,233	2027/09/17	
通貨小計	銘柄数	2銘柄						
	金 額			6,000	5,729	825,175		
ユーロ (オランダ)	JT INTERNATIONAL FINANCIAL SERVICES BV	社債券	2.3750	千ユーロ 2,200	千ユーロ 2,106	332,974	2081/04/07	
通貨小計	銘柄数	1銘柄						
	金 額			2,200	2,106	332,974		
合 計	銘柄数	3銘柄						
	金 額					1,158,149		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## (5) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
	百万円	百万円
外 US 5YR NOTE (CBT) (アメリカ)	—	296
国 US 2YR NOTE (CBT) (アメリカ)	—	532
EURO—SCHATZ FUT (ドイツ)	—	336

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年12月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,244,472	97.0
コール・ローン等、その他	193,281	3.0
投資信託財産総額	6,437,754	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝144.03円、1ユーロ＝158.07円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,233,695千円)の投資信託財産総額(6,437,754千円)に対する比率は、19.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,637,787,739円
コール・ローン等	85,898,829
公社債 (評価額)	6,244,472,690
未収入金	1,216,290,897
未収利息	34,910,498
差入委託証拠金	56,214,825
(B) 負債	1,225,138,482
未払金	1,200,009,133
未払信託報酬	24,827,443
その他未払費用	301,906
(C) 純資産総額	6,406,376,622
元本	6,286,854,925
次期繰越損益金	119,521,697
(D) 受益権総口数	6,286,854,925口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,190円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,190円です。

(注) 純資産総額は、(A) 資産 - (B) 負債に先物取引等評価損益 (△6,272,635円) を加算したものです。

## ■損益の状況

当 期 自 2022年11月30日 至 2023年12月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	128,359,982円
受取利息	126,261,737
その他収益金	2,258,195
支払利息	△ 159,950
(B) 有価証券売買損益	△ 64,529,976
売買益	97,691,802
売買損	△ 162,221,778
(C) 先物取引等損益	27,291,940
取引益	41,301,189
取引損	△ 14,009,249
(D) 有価証券評価差損益	86,578,476
(E) 先物取引等評価差損益	△ 6,272,635
(F) 信託報酬等	△ 48,745,678
(G) 当期損益金 (A + B + C + D + E + F)	122,682,109
(H) 解約差損益金	△ 3,160,412
(I) 合計 (G + H)	119,521,697
次期繰越損益金 (I)	119,521,697

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 先物取引等評価差損益は、先物取引の期末の評価損益と期首との差額です。

(注3) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注4) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注5) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。